笑顔と笑いがたえず高齢者が元気いっぱい

通いの場

多久市役所　高齢・障害者支援課

介護予防・日常生活支援総合事業

高齢者　子ども　若者　地域住民
障害者　生活困窮者　認知症の方　その他

基礎情報		
	人口（R7.1月時点）	17,604人
	高齢化率（R7.1月時点）	38.7%
	要介護認定率（R7.1月時点）	17.7%
	取組の予算規模（年間）	270万円程度

詳細はHPから

多久市社会福祉協議
https://care-net.biz/41/takushishakyo/download.php#DL05

取組概要

- 市内で現在59か所のサロン（通いの場）が立ち上がっている。
- 各地区（行政区）の地区公民館単位で週に1回集まり、体操実施後に茶話会などを行い、サロン交流を行う時間を作っている。

背景・きっかけ

- 2015年の介護保険制度改正を機に始まった生活支援体制整備事業における協議体活動の中で通いの場の創出を進め、いきいき百歳体操はそのうちの一つとして実施されている。
- 参加者の筋力向上を始めとする介護予防の推進、社会参加の促進等を目的として開始した。

取組の経緯

- 生活支援体制整備事業の開始をきっかけに、協議体協議の中で通いの場の創出を進めている。 社会福祉協議会に委託し、各サロンの立ち上げ支援、立ち上げ後の支援として補助金支援を行うことで、現状59か所のサロンが立ち上がっている。



体操の様子



茶話会の様子

通いの場
多久市役所　高齢・障害者支援課

取組詳細

- **取組内容**
  - ✓ 各地区（行政区）の地区公民館単位で週に1回集まり、体操実施後に茶話会などを行い、サロン交流を行う時間を作っている。
- **実施体制**
  - ✓ 実施主体：多久市社会福祉協議会（役割：サロン運営の後方支援、運営補助金の分配、管理）
  - ✓ 連携先：区長会、民生委員会など（役割：各サロンへの地域における支援）
- **財源**
  - ✓ 地域支援事業費　平成28年度以降

成果

- 年々サロンを開始する地区が増えており、現状59か所のサロンが立ち上がっている。
- 一部の地域だが、地区公民館での体操、サロン活動だけだったものが、地域の活動（子どもへのラジオ体操支援）に広がっている地区もある。

今後の展望

- 近隣地区のサロン間の交流や活動の拡大、高齢者だけでなく、若い世代との交流も視野に入れた取り組みの拡大を図っていきたい。

取組のポイント

サロンの継続のための支援

- 各種レクリエーションの充実を図ったり、代表者会議を定例で行うことにより、各サロンの意見や課題を集約しながら継続支援を行ってきた。

通いの場の多様な効果

- 通いの場には以下のような効果がある。
  - ① 楽しみや生きがいを見出す。自身の役割・生きがい・楽しさを見出すことができるため、社会参加への意欲を高められる。
  - ② 生活にメリハリが生まれる。
  - ③ 孤立防止につながる。気軽に立ち寄れる場所やともに活動できる仲間をつくることで、自宅以外の自分の居場所ができるため、閉じこもり防止につながる。
  - ④ 介護・認知症の予防になる。